

折半カーポートの切詰加工

折半カーポートの後ろ部分を一部カットする方法です。



屋根を切詰後、 切断部分加工する方法

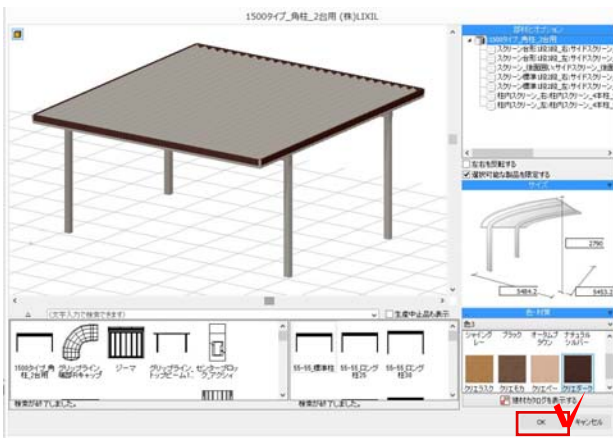
その1 切断部分を補う方法

eE-Former内で柱体を使って、切断面のフレームを補う方法です。

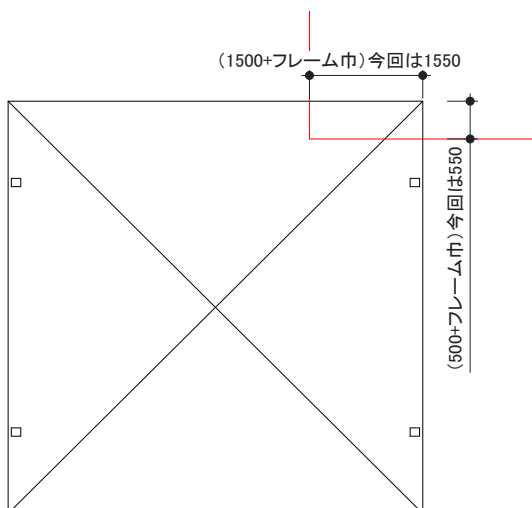
その2 切断部分を補う方法

細部にこだわる場合

切断前にeE-Former内でコピーでしたフレームを使って切断面を補う方法です。



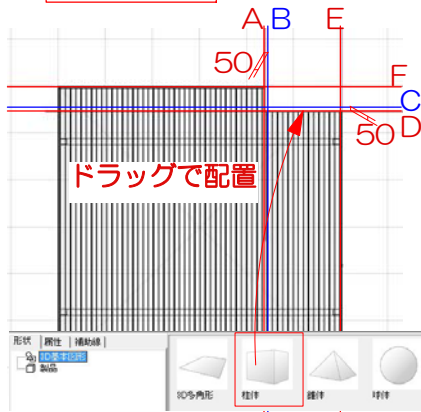
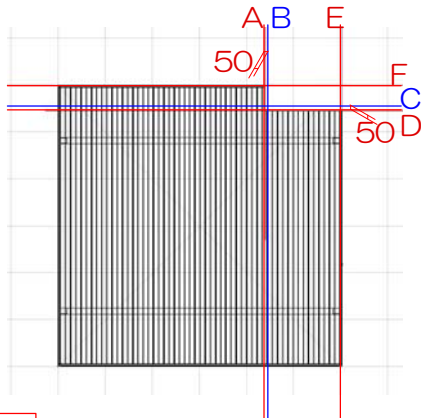
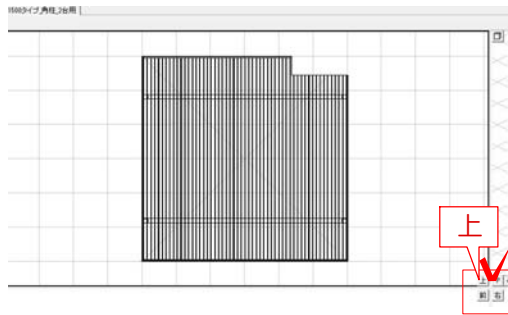
1：配置した製品をWクリックし、部材デザイナーで、設定可能な部分のオプション設定をします。



その1 切断部分を補う方法

1：切断するラインを、手書き補助線で描きます。

その1 切断部分を補う方法



1：製品を選択し、加工メニューからeE-Formerをクリックします。
eE-Formerが起動します。

2：画面の上を選択し、上から見た状態で作業します。

3：画面左上の補助線を選択します。

4：補助線をA～Fまで左の絵の用に配置します。
BはAから50オフセットして配置します。
同様にCはDを50オフセットして配置してください。

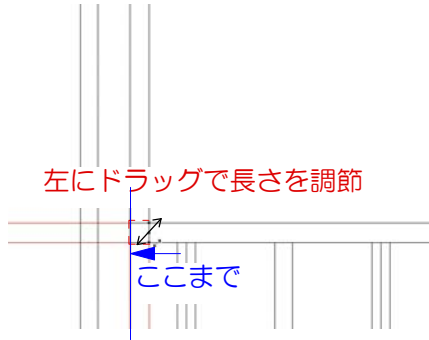
※補助線を選択し、加工メニューからオフセットを選択してください。

5：画面左下の形状を選択し、3D基本図形を選択します。

6：画面下の柱体を50の隙間にドラッグで配置します。

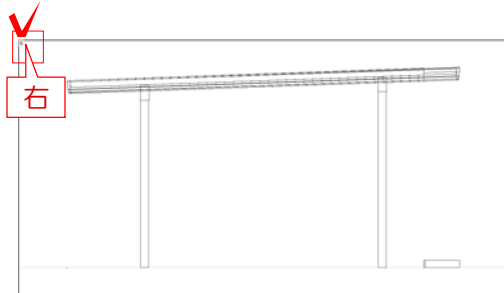
7：配置するとHの設定が表示されます。
今回はH:100で入力します。

※製品によってHは異なります。



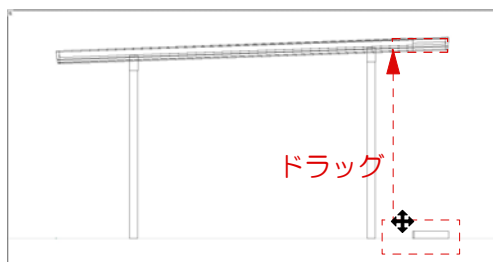
8：補助線が交差している部分の柱体を↖の時
に真ん中の点をクリックして左側までのば
します。

※同様にAとBの間にも柱体を配置してくだ
さい。8の作業は不要です。

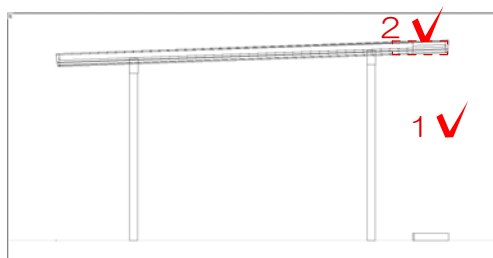


9：右を選択して、右側の画面に切り替えま
す。

※上を選択していたので、右下に画面ボタ
ンが配置されています。



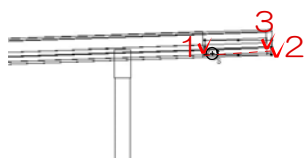
10：作成した柱体が右下に配置されます。
⊕のカーソルの時にドラッグで上に配置し
ます。



11：一度画面上何も無いところを選択解除
し、右側の図形を選択します。

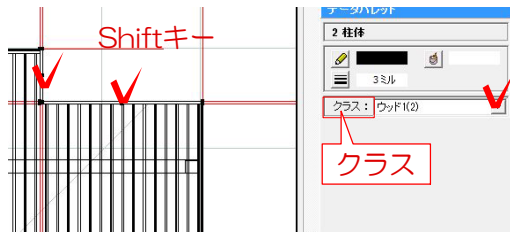


12：加工メニューから回転→回転を選択し
ます。

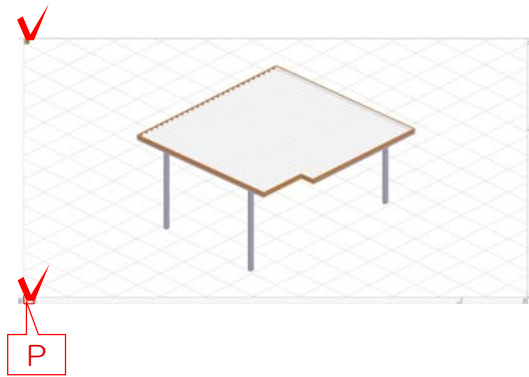


13：1点目は図形の左下の点を選択して、
2点目は、図形の右下の点をクリックしま
す。

3点目は斜めのラインに沿ってクリックし
て回転です。

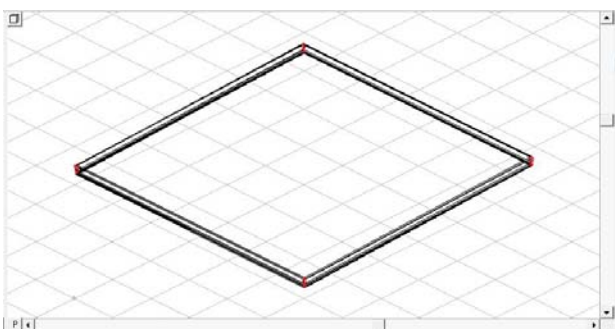
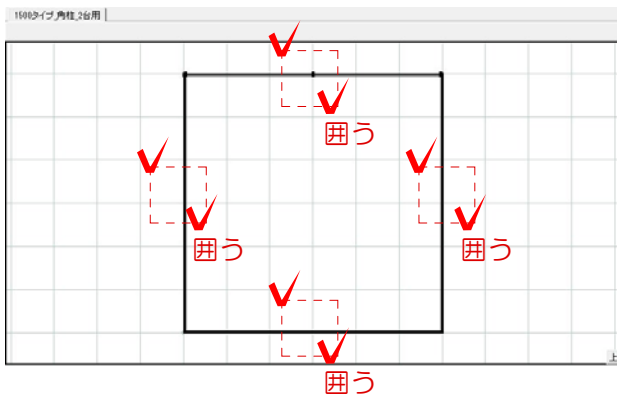
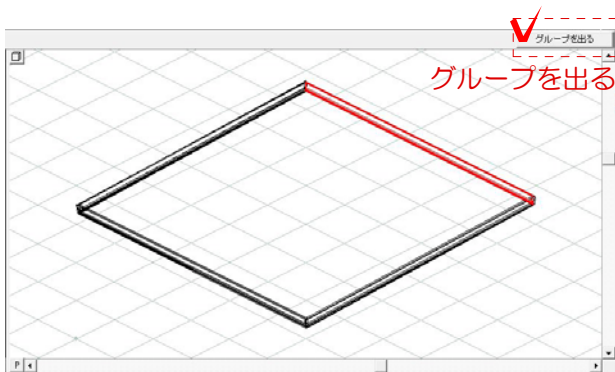
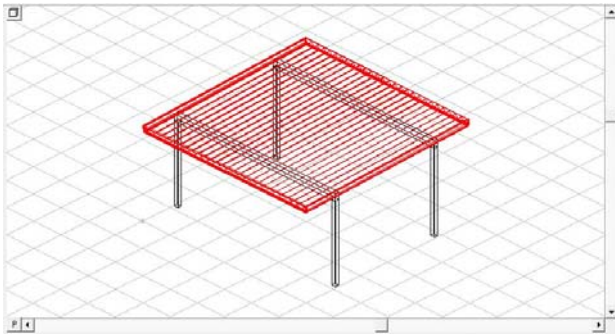


14：配置した図形Shiftキーを押しながら選んで、画面右側のクラスをウッド1に変更します。

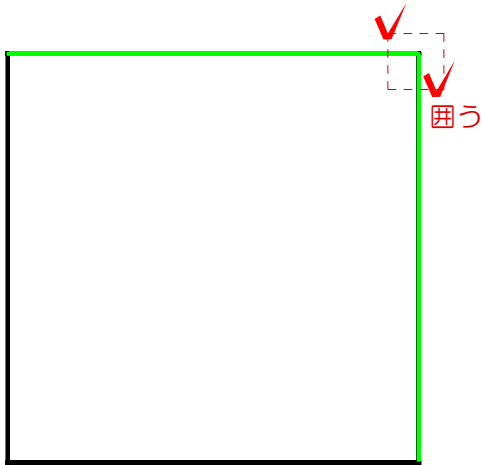


15：画面Pで確認します。
画面左上のカラーボタンで表示するとカラーで確認できます。

その2 切断部分を補う方法

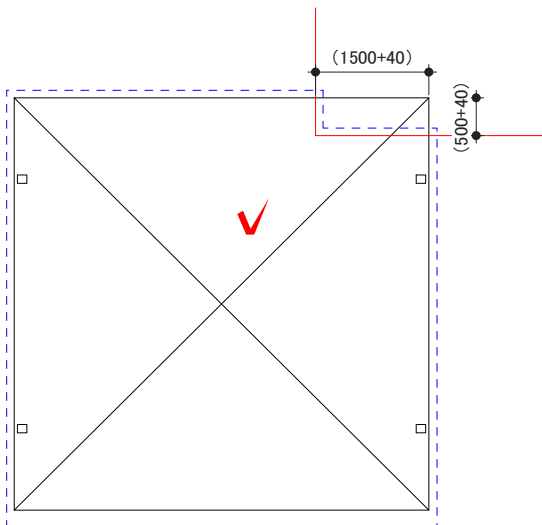


- 1：製品を選択し、加工メニューからeE-Formerをクリックします。
eE-Formerが起動します。
- 2：4画面表示のまま、斜めアングルで操作します。
フレーム部分をWクリックします。
フレームのみが表示されるまで、繰り返し行います。
図形の中に入りすぎた場合は、右上の『グループを出る』をクリックします。
- 3：フレームのみ表示された後、上から見たアングルですべてを囲んで選択します。
右のデータパレットでグループ数が表示されます。
オブジェクトメニューからグループ解除パーツごとに分けます。
- 4：上から見たアングルで辺ごとに囲んでオブジェクトメニューからグループをクリックし、辺ごとに複数のパーツがまとまるようにします。
- 5：コーナー部分もオブジェクトメニューからグループ解除パーツごとに分けます。



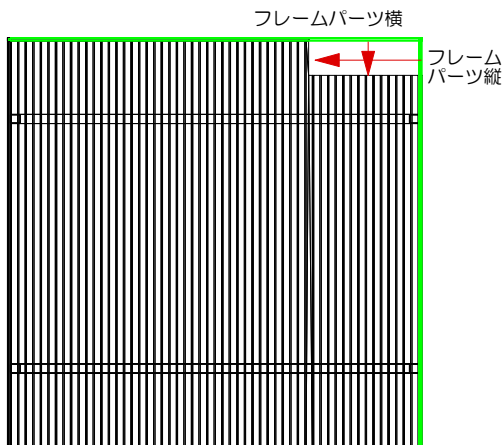
6：切断部分にあたるフレームを囲んで選択します。

7：編集からコピーをし、eE-FormerをOKで閉じます。

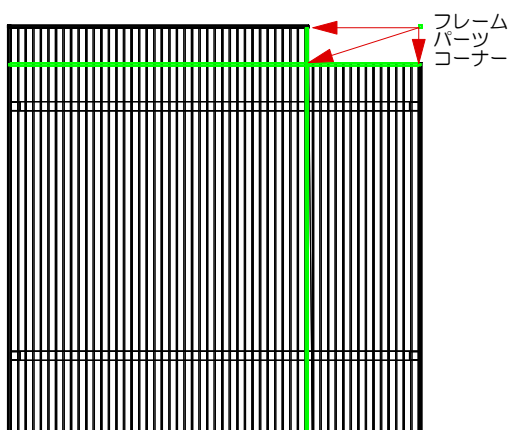


8：切断するラインを、手書き補助線で描きます。

9：描いた補助線と製品を選択し、加工メニューから切断をクリックし、残したい部分をクリックで選択します。



10：再度、eE-Formerを起動し、コピーしていたフレームを同一ペーストします。
(その際、線の色を変更すると認識がしやすいです。)



11：フレームを切断分移動させます。

縦のフレームはX=-1500

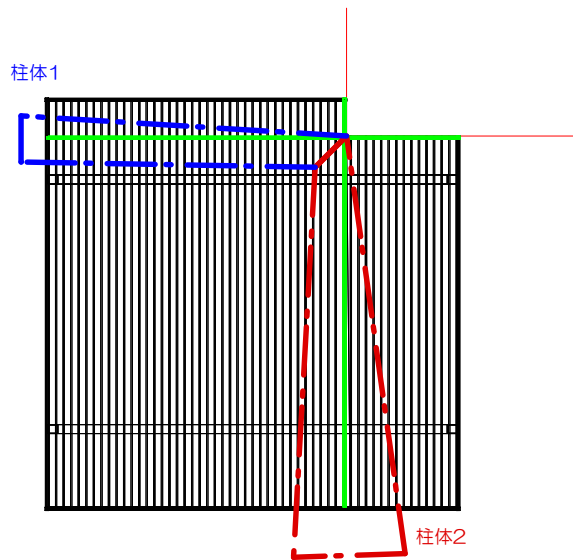
横のフレームはY=-500

コーナーは2複製して

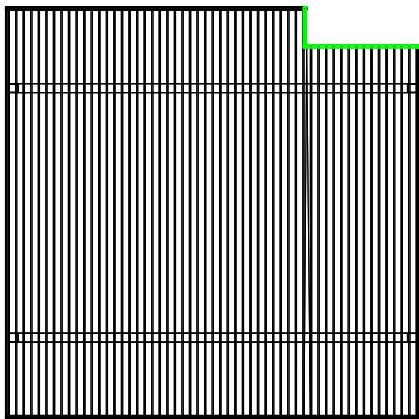
X=-1500

Y=-500

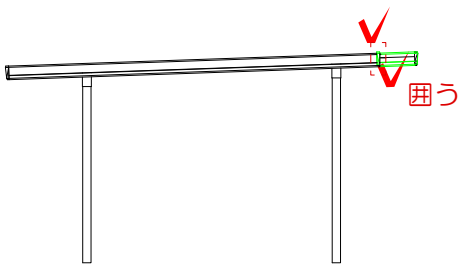
X=-1500、Y=-500



- 12：屋根とフレームが重なってしまった部分をカットします。
 排除した部分を多角形で囲い、
 3Dメニューから柱体をクリックし、
 カーポートよりも高い数値を入力します。



- 13：フレームと描いた立体を選択し、
 加工メニューから切り欠きをクリック
 します。
 重なった部分がカットされます。



- 14：右から見たアングルに切り替えます。
 はみ出した部分を囲んで、位置調整を
 します。
 Shift+矢印で移動すると、細かい移動
 調整ができます。
 斜めアングルから確認しOKであれば、
 eE-FormerをOKで閉じて完成です。